



## 1年間を振り返って～「予測困難な時代」に生きる力～

校長 田口雅和

令和7年度も残すところ1週間となりました。世界に目を向けると、ロシアによるウクライナ侵攻は開始から4年が経過し、混迷を極めています。さらに中東では、アメリカ・イスラエルとイランをめぐる情勢が急速に悪化し、エネルギー供給の不安や世界的なインフレの再燃など、私たちの生活にも影を落とす先行き不透明な状況が続いています。

このような正解のない「予測困難な時代」だからこそ、教育の果たす役割はかつてないほど重要になっています。文部科学省の中央教育審議会では、現在、次期学習指導要領の改訂に向けた議論が進められており、令和7年9月の論点整理では、以下の三つの方向性が示されました。

### ◎これからの学びが目指す三つの柱

- 「主体的・対話的で深い学び」の実装（Excellence）

デジタル学習基盤（ICT）を最大限に活用し、情報活用能力を育みながら、質の高い探究的な学びを実現することを目指します。

- 多様性の包摂（Equity）

インクルーシブ教育の理念に基づき、全ての子供たちが適切な教育を受けられる環境を整え、互いのよさを認め合う社会の創り手を育てます。

- 実現可能性の確保（Feasibility）

学校における働き方改革を進め、教育の質を維持・向上させながら、持続可能な教育体制を構築します。

さて、今年度、訓子府中学校ではこれらの方向性を見据え、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を軸に教育活動を展開してきました。特に今年度は、ICTを単なる道具ではなく、自らの考えを深め、他者とより高度に連携するための「知の基盤」として活用する場面を少しずつ増やしてきました。生徒たちが授業で真剣に問いに向き合う姿、行事を通して仲間と葛藤し協力する姿勢、そして地域の方々への清々しい挨拶。それら一つ一つの場面に、これからの激動の時代をたくましく生き抜くための力が確実に根付いていると、訓子府中学校の生徒の姿を見て実感しています。

1年間の成長は、3年間で大きな実を結びます。先日、本校を巣立っていった卒業生たちも、ここ訓子府で培った力を糧に、新たな世界を切り拓いてくれるものと信じています。この1年間、本校の教育活動を温かく支えてくださった保護者・地域の皆様、そして情熱をもって指導にあたった教職員に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 第79回 卒業証書授与式

3月13日、第79回卒業証書授与式が実施され、44名全員に卒業証書を手渡すことができました。それぞれの決意と多くの感動を後輩たちに残してくれた素晴らしい3年生でした。ご卒業おめでとうございます。



### お世話になりました。

教諭 多田陽華 網走市立第四中学校へ

授業や行事、何気ない日常の中で見せてくれた笑顔や頑張りに、たくさん元気をもらいました。みなさんと過ごした時間は、私にとってかけがえのない宝物です。保護者、地域の皆様と関わる機会も多くあったため、訓子府を離れることをさみしく感じています。初任校が訓子府中学校でとても幸せでした。4年間ありがとうございました。

教諭 永野間葵 北見市立南中学校へ

2年間大変お世話になりました。明るく元気な皆さんと楽しい毎日を過ごすことができました。この学校を離れるのは寂しいですが、次の赴任先でも頑張るので、皆さんも自分の夢ややりたいことに向かって突き進んでください。今まで本当にありがとうございました。

支援員 金 美幸 任期満了

10年と7ヶ月、本当にお世話になりました。特別支援学級の支援員として、とてもたくさん子どもたちに関わることができ、私も一緒に成長することができました。気持ちの素直な優しい子どもたちであふれていて、その中で共に学校生活を送れたことに感謝しています。長い間、ありがとうございました。

### 年度末・年度始休業の緊急連絡

[kunneppu.chu@gmail.com](mailto:kunneppu.chu@gmail.com)

事故/事件等の緊急連絡が生じた場合は、平日の日中の場合は学校へ連絡をお願いします。もしも休日や夜間の場合は、下記のアドレスまでお願いします。メール本文に「お名前」「電話番号」を入力いただければ、校長または教頭から連絡させていただきます。事故等のない「春休み」を送ってほしいと思います。